



<報道用資料>

2023年5月
株式会社紀文食品

4人に1人がちくわを週1回以上食べている ～「竹笛[®]」発売50周年 ちくわに関する調査～

紀文の代表的な練り製品であるちくわブランド「竹笛[®]」は、1973年の発売以来、今年で50周年を迎えました。

そこで紀文では、全国の20代～60代以上の女性1,000人を対象にちくわ^{*1}に関する調査を実施しました。皆さんは普段、どのくらいちくわを召しあがっているのでしょうか。

^{*1} 文中の「ちくわ」はすべて「中央部に濃い焼き色が付いて端は白い、主に生食で食べられているちくわ」を指します。

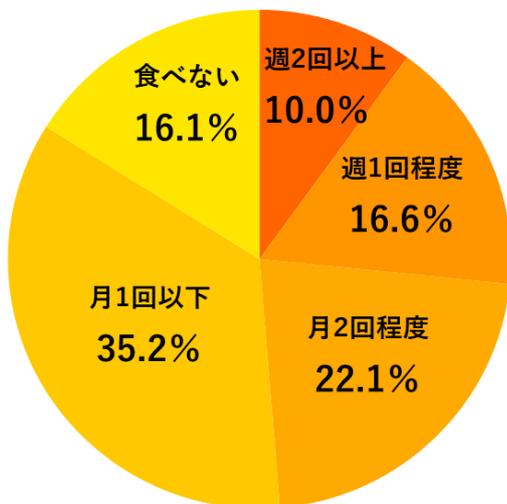


ちくわを週1回以上食べると回答した人は26.6% 4人に1人という結果に

ちくわを食べる頻度について聞いたところ、週1回以上が16.6%、週2回以上が10.0%という結果になりました（左グラフ）。約4人に1人の方が、週1回以上ちくわを召しあがっていることが分かります。

また、普段ちくわをどのように召しあがるかについて聞いたところ、最も多かったのは「加熱調理する」（61.7%）、次いで「そのまま食べる」（57.5%）、おでん（48.2%）と続きました（右表）。

Q.ちくわを食べる頻度について
(n=1,000、単一回答)



Q.ちくわの食べ方について
(n=839^{*2}、複数回答)

第1位	炒め物や揚げ物など、加熱調理する	61.7%
第2位	そのまま食べる	57.5%
第3位	おでん	48.2%
第4位	射込む	45.4%
第5位	サラダなど、加熱せずに調理する	27.5%
第6位	その他	1.1%

^{*2} 「ちくわを食べる頻度」で「食べない」と答えた方を除く

<この資料に関する問い合わせ先>

株式会社紀文食品 広報室

TEL : 03-6891-2751 E-mail : koho_tokyo1@kibun.co.jp

※画像データをご希望の方は広報室までご連絡ください

射込みちくわ、みんなどうやって食べている？

前ページでご紹介したちくわの食べ方についての質問で、「射込む」が4位となりました。ここからは、射込みちくわに注目してみましょ。

最近では、プチプライスショップでもちくわの穴にさまざまな食材を詰めることができるグッズが発売されるなど、射込みちくわがじわじわと話題になっています。

「ちくわに詰める食材」の定番と言え、きゅうりやチーズを思い浮かべる方が多いと思いますが、他にはどのような食材が人気なのでしょう。今回、紀文がおすすめする6つの射込みメニューについて、調査しました。

■ひと口メモ 「射込み」とは？■

射込みとは、空洞のある食材や食材の中身をくりぬいたものに、別の食材を詰めることをいいます。

～紀文おすすめ射込み具材～

Q.ちくわに詰めてみたい食材

(n=839^{※2}、複数回答)

第1位	ツナマヨネーズ	62.1%
第2位	オクラ	33.1%
第3位	サラミ	26.3%
第4位	たくあん	23.8%
第5位	にんじん	11.8%
第6位	パプリカ	9.1%

※2「ちくわを食べる頻度」で「食べない」と答えた方を除く



ツナマヨネーズ



オクラ



サラミ



たくあん



にんじん



パプリカ

詰めてみたい具材では、ツナマヨネーズが圧倒的1位という結果に。この他、自由回答では

明太マヨ/カレー/ポテトサラダ/梅肉/シソ/ひき肉/アスパラガス/ウインナー

などの食材が挙がりました。射込みちくわの可能性はまだまだ広がりそうです。皆さんも、いろいろな食材を試してみたいはかがでしょうか。

紀文では、竹笛[®]をメインとしたブランドサイト「紀文のちくわ」を公開中です。竹笛[®]のおいしさの秘密や、射込みちくわの他、これからの季節におすすめのレシピなどをご紹介します。こちらもぜひご覧ください。

ブランドサイト「紀文のちくわ」www.kibun.co.jp/brand/chikuwa/



《調査概要》

- 調査機関：アイブリッジ株式会社および株式会社紀文食品
- 調査地域：全国
- 調査対象：20代～60代以上の女性 各年代約200名
- 調査日：2023年3月28日 ■サンプル数：1,000名 ■調査方法：インターネットによる調査